

専修免許状のメリット がよくわかる小冊子

“専修免許状”を取得して高度な資質能力を証明しましょう

－ 求められる教員の資質能力の高度化 －

中央教育審議会の答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について ～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（2015年12月21日）」によると

「複雑化，多様化する教育課題に対応するためには，教員の資質能力について一層の高度化が図られなければならない。そのためには，将来的には教員養成の大学院レベル化も視野に入れつつ，**教職大学院を中心とした大学と教育委員会が連携しながら教員の養成や研修**を進めていくことが必要である。また，**教員がこれらの方法により学習した成果を専修免許状の取得**や能力証明（サーティフィケート）に結びつけられる方策も重要である。これらにより，一人一人の教員が自ら学び続ける意欲を高め，ひいては**高度専門職業人としての教員の地位の確立にも寄与**することが期待される。」（p58～p59）

「また任命権者においては，これらの教職課程を経て**専修免許状を取得した者**についても，教員採用や**人事上の配置・昇進，処遇への反映**を行うなど，教員養成の高度化を促進する観点からインセンティブとなる取組を進めていくことが期待される。」（p60）

とあるように、近年、専修免許状の取得等を通じた教員の資質能力の高度化が求められています。

このような背景があることから、星槎大学大学院では、日本の先生を応援することを目的に「専修免許状のメリットがよくわかる小冊子」を作成いたしました。専修免許状の取得を検討されている先生方の参考になれば幸いです。

目次

「実践力」向上を目指して.....	5
専修免許状とは.....	6
専修免許状のメリット.....	7
これから取得を目指す先生へ 応援メッセージ.....	8
専修免許状の所有状況.....	9
学校管理職と専修免許状保有者の関連性.....	10
専修免許状を取得するには.....	11
免許法認定通信教育とは.....	12
免許法認定通信教育で単位修得できる大学一覧.....	13
星槎大学大学院での単位修得方法.....	14

【「実践力」向上を目指して】

教師の「実践力」を高めるにはさまざまな方策が考えられます。

まずは、「毎日の授業や生徒指導」を通して自ら工夫する、「校内研修や現職研修」に参加して同僚の実践から学ぶなど、皆さん日ごろから研究されていることと思います。

その他にも、

- 様々な問題や課題が溜まってきたので、大学院の「修士課程」に入り、自分なりの実践課題を立てて、指導を受けながら、普段はできないような多角的で集中的な検討を加え、新たに知りあった院生仲間とも議論しながら課題解決に努める。

- 「修士課程」では多様な専門分野の知識や技術に触れることができるので、実践そのものから少し距離を置いて、広い観点から眺め直して研究する姿勢を身につけつつ、学校現場では得られない新たな実践を探究する。

- 研究する姿勢をさらに強化するために「博士課程」に入り、海外の動向も含めて、より広く一段と高い視野から、実践そのものを対象化して、高度学術研究的に深く掘り下げる。

など、大学院での学びを通して「実践力」の向上を目指すことも考えられるでしょう。

このような大学院での「実践力」向上の結果として専修免許状が取得できますので、専修免許状は、皆さんの資質・能力を示す証しとして大いに役立つことと思います。

(星槎大学大学院 教育学研究科長 教授 今津 孝次郎)

【専修免許状とは】

教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第4条に定める教員の普通免許状の一種です。

教員の普通免許状には、短大卒業程度の二種免許状、大学学部卒業程度の一種免許状と、大学院修士課程修了程度の専修免許状があります。

専修免許状を取得する方法は、以下の通りです。

（１）一種免許状を有する者（所要資格を満たしている者を含む）が、修士号等の基礎資格を得るとともに、文部科学大臣の認定を受けた大学院又は四年制大学専攻科の課程で24単位以上を修得する方法。

（２）一種免許状又は特別免許状を有する者が、最低在職年数（3年）以上良好な勤務成績で勤務するとともに、所定の単位を修得し、教育職員検定を受ける方法。必要な単位数は一種免許状の場合で15単位、特別免許状の場合は25単位（小学校特別免許状は41単位）です。

外国の大学院等で上記と同様の要件を満たすか、若しくは当該大学院等の課程を修了し、又は外国において教育職員に関する免許状の授与を受けた後、教育職員検定を受ける方法。

（３）外国の大学院等で上記と同様の要件を満たすか、若しくは当該大学院等の課程を修了し、又は外国において教育職員に関する免許状の授与を受けた後、教育職員検定を受ける方法。

（文部科学省のWebサイトより抜粋、項番・強調を付与）

【専修免許状のメリット】

地域によって異なりますが、人事上の配置や処遇、管理職への昇進など専修免許状を有することで得られるメリットもあるようです。また、専修免許状への上進によって、所有免許状の有効期限を延長することも可能です。

また、教科指導を頑張る姿勢の証明にもなります。現在、この経験を活かして理科教育助成の担当や地区教育研究会の理科部会部長として毎日教科研究に取り組んでいる先生もいらっしゃいます。（「これから取得を目指す先生へ 応援メッセージ」参照）

■ 専修免許状を取得すると

- ・人事上の配置、昇進、処遇に反映
- ・管理職になるための必要条件
- ・所有免許状の有効期限が延長
- ・教科指導を頑張る姿勢の証明
- ・実践力向上の証明
- ・高い「資質・能力」を有する証明

【これから取得を目指す先生へ 応援メッセージ】

専修免許状を取得した現職の先生を始めとする関係者の皆さまから、これから専修免許状の取得を目指す先生方への応援メッセージをいただきました。

■ 現職の先生からの応援メッセージ

専修免許状は、中学校に勤務しながら土日に通学して取得しました。

大学院に通うために休職をする方法も考えましたが、教師としては「仕事」か「学び」かではなく、両立させる必要があります。

仕事を続けていると時間の制約はありますが、大学生の時とは異なり、経験を積んでいる分の濃い学びをすることができたと思います。

私は理科が好きで教職を志しましたが、教科研究や学習指導に関する仕事は授業以外の校務では限られています。

「教科指導を頑張る」という姿勢の目に見えた証明が専修免許状になっていると感じています。

現在は、理科教育助成の担当や、地区教育研究会の理科部会部長として、毎日教科研究に取り組んでいます。

小田原市立白山中学校 教諭
西垣 亮 氏

■ 専門家からの応援メッセージ

一般に海外では、学位や教員免許の種類によって、その教師の「資質・能力」が評価されるのが通例です。したがって大学院で修士や博士の学位を取得しようとしています。それが給与や職階に直結するからです。

これに対して日本では、学位や教員免許の種類によって教師の「資質・能力」を評価する制度がまだ整っていません。しかし、現代日本では修士学位と専修免許をもつ教師も少しずつ増えていますし、処遇制度も変化していくでしょう。

従来通り、「実践力」向上を動機にするにしても、まずは「修士課程」へ入学して、実践課題を多角的にまとめたかたちで検討すると共に、「専修免許状」を取得することがその証拠として教師の「資質・能力」を示すことになることをお伝えしたいと思います。

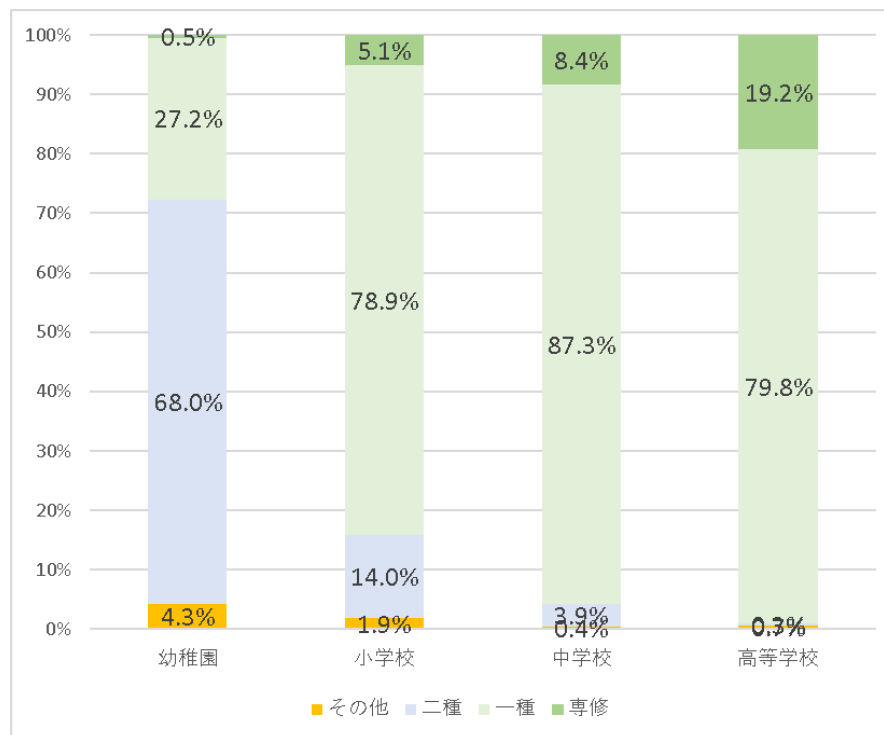
星槎大学大学院 教育学研究科長
教授 今津 孝次郎

【専修免許状の所有状況】

当該学校種類に相当する教員免許状の所有状況は次のとおりです。

高等学校は、他の学校種と比較して専修免許状の所有割合が高い傾向にありますが、幼稚園・小学校・中学校での専修免許状の所有割合は、10%未満と総じて低い傾向にあります。

	専修	一種	二種	その他
幼稚園	0.5%	27.2%	68.0%	4.3%
小学校	5.1%	78.9%	14.0%	1.9%
中学校	8.4%	87.3%	3.9%	0.4%
高等学校	19.2%	79.8%	0.3%	0.7%

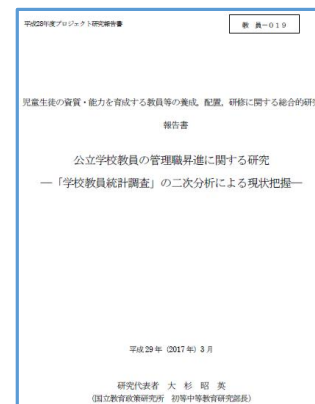


※「その他」には、臨時免許状・特別免許状・当該学校種類に相当する免許状を所有せず（学校教育法施行規則第20条及び22条（校長の資格）、同第21条（私立学校校長の資格の特例）、同第23条（副校長及び教頭の資格）、教育職員免許法第16条の3（中学校等の教員の特例）に該当する者をいう。）を含む

※養護教諭、養護助教諭の免許状は、当該学校の普通免許状、臨時免許状として計上

【学校管理職と専修免許状保有者の関連性】

文部科学省「学校教員統計調査」の二次分析による研究結果によると、全国的な傾向としてどの学校種においても専修免許状を保有する教員は管理職に昇進する確率が高く、また、小学校及び高等学校においては、比較的多くの地域において専修免許状保有者の管理職昇進確率が高い傾向があるようです。



(以下、同研究報告書より抜粋)

第3章 学校管理職に昇進した教員の属性

(略) この章では、文部科学省「学校教員統計調査」の教員個人調査で調査された属性情報を利用しながら、学校管理職に昇進する確率¹が相対的に高いや低い属性はあるのかを分析することを通じて、学校管理職に昇進した教員の属性について考えてみたい。(略) (p59)

(略) 全国的な傾向から結果を確認すると、どの学校種においても比較的年齢の高い教員や専修免許を保有する教員は管理職に昇進する確率が高くなっていた (略) (p73)

(略) また、小学校及び高等学校に関しては、比較的多くの地域において専修免許保有者の管理職昇進確率が高いという傾向も見いだされた。(略) (p74)

¹ 管理職への昇進という実態を、確率的に考えることに抵抗がある読者もいるだろう。ただ、2 節で説明するように、統計学的手法上は確率的に考えることになっており、管理職に昇進する確率を分析することになる。

【専修免許状を取得するには】

ここでは、現職の先生が比較的短期間で専修免許状を取得する場合を例に取得の流れを示します。

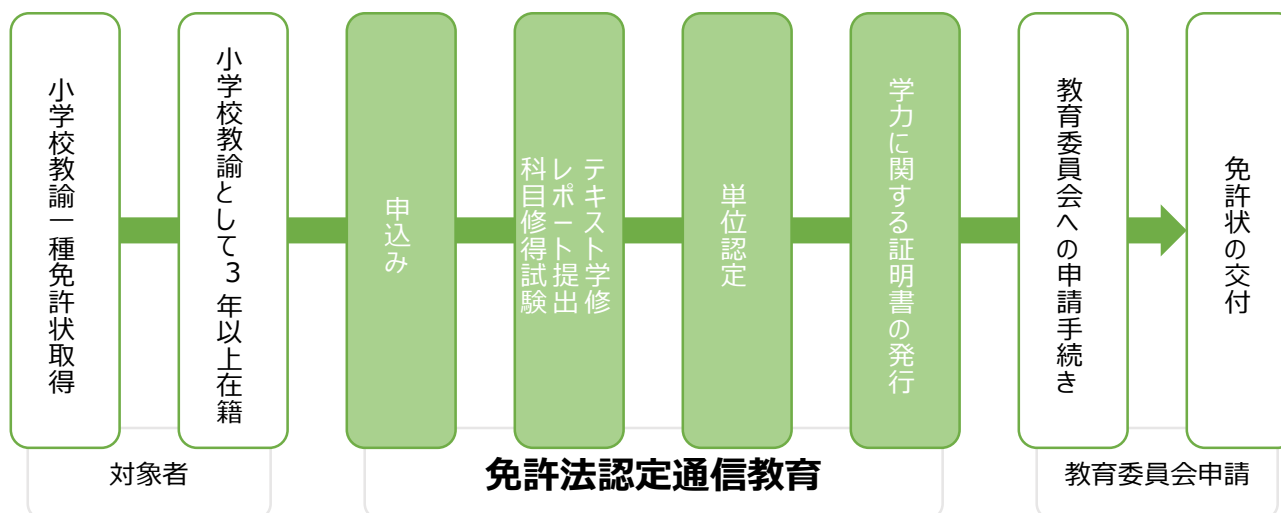
例：小学校教諭一種免許状を有し、小学校教諭専修免許状を取得する
免許法認定通信教育（次ページ参照）で単位修得する

■ 必要なもの

免許状：小学校教諭一種免許状

在籍年数：小学校教諭として3年以上

修得すべき単位数：15単位以上



（申請書類等、神奈川県の場合）

- ・申請書、履歴書
- ・申請手数料
- ・人物、身体、実務、学力（修得単位）を証明する書類
- ・免許状のコピー
- ・教員免許更新等証明書
- ・その他、教育委員会が指定するもの

注）申請方法については、各都道府県教育委員会によって異なりますので、実際の申請に関しては、各教育委員会へご確認ください。

【免許法認定通信教育とは】

現職の先生が、無理なく学び、単位修得できるように設けられた文部科学省の定める制度です。

学びたい科目を自由に選択し、ご自宅で学修することができるように設計された学び方で、開設される科目は文部科学省に認定されています。

(以下、文部科学省のWebサイトより抜粋)

免許法認定講習・公開講座・通信教育とは、一定の教員免許状を有する**現職教員の方が、上位の免許状や他の種類の免許状を取得しようとする場合**に、大学の教職課程によらずに必要な単位を修得するために開設されている講習・公開講座です。

教員免許状を取得するためには、原則として大学等において学士の学位等の基礎資格を得るとともに、教職課程において所定の単位を修得することが必要です。

しかしながら、教員の資質の保持・向上のため、現職の教員等がすでに所有している免許状を基にして、一定の在職年数と**単位取得によって上位の免許状などを取得する方法も開かれており、免許法認定講習・公開講座・通信教育はこのために設けられている制度**です。



【免許法認定通信教育で単位修得できる大学一覧】

専修免許状の取得に必要な単位を、免許法認定通信教育で修得できる大学を示します。

免許法認定通信教育の開設科目は、年度毎に文部科学省の認定が必要なことから単位修得できる大学も年度ごとに異なりますので、検討に際してはご注意ください。

(令和3年度)

大学名	開設科目数	免許状の種類	URL
放送大学	53科目	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 養護教諭	https://www.ouj.ac.jp/
岐阜女子大学	8科目	中学校 高等学校	https://gijodai.jp/
星槎大学	7科目	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	https://gred.seisa.ac.jp/

卒業生等の大学関係者のみを対象として募集している大学もありますので、受講資格等については各大学へご確認ください。

【星槎大学大学院での単位修得方法】

星槎大学大学院では、日本の先生を応援するため専修免許状の取得に必要な単位が修得できる免許法認定通信教育を提供しています。

- ・受講対象者は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかの一種免許状を有する方で、該当の免許状での教職経験年数が3年以上の方になります
- ・開講科目から4科目（16単位）を選んで単位修得します（1科目から申込み可能）
- ・すべて自宅で学修できます（テキスト学修、レポート提出、科目修得試験の全てが自宅で可能）
- ・スクーリングはありません
- ・受講料は、1科目（4単位） 50,000円です（テキスト代別）

科目名	担当教員	単位数	免許状の種類
発達臨床実践特論（R3認定通信）	岩澤一美	4単位	小学校専修免許状 中学校専修免許状 高等学校専修免許状 特別支援学校専修免許状
教育のユニバーサルデザイン特論（R3認定通信）	阿部利彦	4単位	小学校専修免許状 中学校専修免許状 高等学校専修免許状 特別支援学校専修免許状
学級経営・学校経営特論（R3認定通信）	大隅心平	4単位	小学校専修免許状 中学校専修免許状 高等学校専修免許状
教育社会学特論（R3認定通信）	石原朗子	4単位	小学校専修免許状 中学校専修免許状 高等学校専修免許状
カリキュラムデザイン特論（R3認定通信）	仲久徳	4単位	小学校専修免許状 中学校専修免許状 高等学校専修免許状
学校教育相談特論（R3認定通信）	大野精一	4単位	小学校専修免許状 中学校専修免許状 高等学校専修免許状
認知教育特論（R3認定通信）	伊藤一美	4単位	小学校専修免許状 中学校専修免許状 高等学校専修免許状 特別支援学校専修免許状

※
これらの科目は、大学が独自に設定する科目 として、現職教員に支持されてきた通信制大学での知見、星槎グループとして学校運営を行ってきた知恵を反映して現場の先生にこそ求められる知識・能力が身につく科目群です。

専門性の高さだけでなく、教育現場で活かせる科目を多く用意しています。

担当教員に、実務者教員が多いことも特徴です。

詳しい情報は、こちらへアクセス（シラバス公開中）
<https://teachers.seisa.ac.jp/join/ninteir2>





専修免許状のメリットがよくわかる小冊子

－ 発行元 －

星槎大学大学院

〒231-0021

神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター5階

Tel: 045-212-3830

Email : nintei@seisa.ac.jp

2021年度版（2021年4月20日 発行）